



# Press Release

2015年10月9日  
中部電力株式会社

## 2015年度冬季の電力需給見通しに関する経済産業省への報告内容

本日、当社は、経済産業省の報告徴収（2015.10.6 発出）に基づき、2015年度冬季（2016年1月・2月）の電力需給見通しを報告しましたので、お知らせします。

### 1 最大電力（発電端）

2015年度冬季の厳寒1点最大電力（2011年度厳寒並みを想定した場合の計算値）を、2,356万kWと報告しました。

これは、国の指示により至近に実施したアンケート調査に基づき、今冬の節電効果を65万kW程度と見込み、最大3日平均電力を2,257万kWと想定したうえで、厳寒等による影響を補正し、1点最大電力に換算したものです。

### 2 供給力（発電端）

2016年1月における当社の供給力を、2,496万kWと報告しました。

### 3 今冬の需給見通し

2015年度冬季において、当社は、期間を通して、安定供給の目安となる予備率を確保できる見通しです。

今後、国の電力需給検証小委員会にて、全国の需給見通しに関する検証が行われます。当社の最終的な需給見通しは、国の検証が完了した後に、速やかにお知らせいたします。

当社は、引き続き、お客さまに安定して電気をお届けできるよう、発電所および送変電設備の重点的な点検・保守を確実に実施してまいります。

### <月別電力需給バランス（発電端）>

	最大3日平均電力 (平年並の気温)	
	2016年1月	2016年2月
最大電力 (A)	2,257万kW	2,257万kW
供給力 (B)	2,482万kW	2,484万kW
供給予備力 (B-A)	225万kW	227万kW
供給予備率 (%)	10.0%	10.1%



報告徴収値(厳寒1点最大電力) (2011年度並の厳寒ケース)	
2016年1月	2016年2月
2,356万kW	<u>2,356万kW</u>
2,496万kW*	<u>2,499万kW*</u>
140万kW	143万kW
6.0%	<u>6.1%</u>

※緊急時の火力発電所の増出力を含む

以上

中部電力株式会社

節電のお願い - 今冬の節電について -

**【節電のお願い】**

お客さまには、今夏も節電にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今冬につきましては、本日、国から具体的な数値目標を設けない節電の協力が要請されました。

お客さまには、誠にご不便をおかけいたしますが、これまでと同様に、無理のない範囲での節電の取り組みを継続していただきますよう改めてお願い申し上げます。

**【参考】国の節電協力要請（数値目標は設けない）**

**（2015年10月30日電力需給に関する検討会合より抜粋）**

- ①現在定着している節電の取組が、国民生活、経済活動等への影響を極力回避した無理のない形で、確実に行われるよう、全国（沖縄電力を除く）で節電の協力を要請する。節電協力要請に当たっては、高齢者や乳幼児等の弱者に対して、配慮を行う。

※2015年度冬季の中部電力における定着節電は、2010年度最大電力比で▲2.8%を見込んでいる。これは節電を行うに当たっての目安となる。

- ②節電協力要請期間・時間帯

2015年12月1日（火）～2016年3月31日（木）の平日 9:00～21:00  
（ただし、12月29日（火）から31日（木）を除く。）

**【今冬の需給状況】**

当社の今冬の需給状況につきましては、お客さまに引き続きご協力いただけると想定した節電効果 65万kWを見込んだうえで、最大3日平均電力に対し、安定供給の目安となる8%の予備率を確保できる見通しです。

当社は、お客さまに安定して電気をお届けできるよう、発電所および送変電設備の重点的な点検・保守を確実に実施してまいります。

以上